

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決 算額[千 円]	29年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予 算額[千 円]
1	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	商工業振興に要する経費	商工振興課	○		①市内に存在する企業の大半を占める中小企業や経済活動を行う団体に対して、補助金の交付やイベントの共同事業などで支援を行う。 ②電気料金の上昇などにより、各商店会で保有する共同施設(街路灯)の維持管理に負荷がかかるなど、固定費の支払い増加が、商店会運営の圧迫に繋がっている。	31,708	23,037	6精査・検証	①補助金交付基準の精査・検証を行うことで、商工業振興団体の活動を拡充させ、現状に則した支援を可能にするため。 ②街路灯のLED化について、街路灯を有している10商店会のうち、5商店会が「検討中」、1商店会が「予定なし」としている。今後、平成31年度予算編成時期前を目途に、「検討中」としている5商店会に対し、LED化に伴う補助制度及びメリット、事例等の情報提供等を行う。	23,057
2	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	空き店舗活用事業	商工振興課	○	○	①賑わいの創出を図るため、商店街の空き店舗を活用し、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1(上限100万円)を補助する。 ②依然として、市内には多くの空き店舗があり、空き店舗の解消に向け取り組んで行く必要がある。	5,000	4,512	6精査・検証	①商店街の空き店舗を活用し、集客に役立つ施設及び店舗の開店など、賑わいの創出を図っていく必要があるため。 ②事業者間の連携を図るため、空き店舗活用事業者による交流会を開催する。	5,000
3	一般	7	1	4	332魅力ある商業の育成	観光振興に要する経費	商工振興課			①観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取り組みを行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助する。 ②市の認知度やブランド力向上に資するため、ふるさと産品の更なる普及、促進に取り組む必要がある。	250	313	6精査・検証	①鎌ヶ谷市の魅力発信のため、観光イベントやPR、ふるさと産品の育成、宣伝等を実施していく必要があるため。 ②市が関係するイベント等でふるさと産品のPRを行う。	639
4	一般	7	1		332魅力ある商業の育成	観光ビジョン推進事業	商工振興課	○	○	①鎌ヶ谷市観光ビジョンに沿った観光振興策により、まちの活性化を図る。 ②市民や事業者を巻き込んだ事業が増加していく中で、今後市民自らが自発的に市の魅力を広めていく体制を整えていく必要がある。	11,930	5,417	6精査・検証	①観光ビジョンの実現に向けて、より具体的に施策を推進していく必要があるため。 ②引き続き、観光ビジョンに掲げた施策を推進するとともに、地方創生推進交付金を活用した北海道及び沖縄県でのトップセールスを実施することで、ファイターズを共有資源とする自治体との連携強化、遠隔地での認知度向上を図る。	6,102